

# CE-300

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CE-300 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2013 年 5 月 13 日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付随的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

## ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

### 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

#### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

#### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

#### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

### 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプタ、その他レールキット等のアクセサリ類は DOA・初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

※本保証期間は 2007 年 9 月 1 日以降にご購入された製品に適用されます。それ以前に購入された製品については、保証期間は 1 年間です。

### 【補足】

- 本規定は ATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

## 【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品の KVM スイッチ、キーボード・マウスコンバータ、キーボード・マウスエミュレータ、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術サポート部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

ユーザーの皆様へ .....	i
ATEN ジャパン製品保証規定 .....	ii
製品についてのお問い合わせ .....	v
FCC.....	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006 .....	3
安全にお使い頂くために.....	4
一般的な注意事項 .....	4
ラックマウントに関する注意事項 .....	6
同梱品.....	7
本マニュアルについて.....	8
マニュアル表記について.....	9
第1章 はじめに.....	10
製品概要.....	10
特長.....	11
システム要件.....	12
コンソール.....	12
コンピュータ .....	12
ケーブル .....	12
OS.....	13
製品各部名称 .....	14
CE-300L(ローカルユニット)フロントパネル.....	14
CE-300R(リモートユニット)フロントパネル .....	15
CE-300L/CE-300R リアパネル.....	16
第2章 ハードウェアセットアップ .....	17
ケーブルの接続.....	17
接続図 .....	18
第3章 操作方法.....	19
CE-300L(ローカルユニット) .....	19
CE-300R(リモートユニット).....	20
第4章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ.....	21
アップグレードの前に.....	21
アップグレード開始.....	23

アップグレード成功 .....	25
アップグレード失敗 .....	25
付録 .....	26
製品仕様 .....	26
ツイストペアケーブル 結線図 .....	28
ツイストペアケーブル ピンアサイン .....	28
トラブルシューティング .....	29
SPHD コネクタについて .....	29

## FCC

本製品はFCC Class A 装置です。一般家庭でご使用になると、電波干渉を起こすことがあります。その際には、ユーザーご自身で適切な処置を行ってください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

## RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

## SJ/T 11364-2006

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

○: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。

●: 表示符合欧盟的豁免条款，但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。

×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



## 安全にお使い頂くために

---

### 一般的な注意事項

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ 製品は相間電圧 230V の配電装置向けに設計されています。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。また、これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 電源コードが破損した。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。
- ◆ 「UPGRADE」と記載されている RJ-11 ケーブルを電話回線用モジュージャックに接続しないでください。

## ラックマウントに関する注意事項

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業前にフロントとサイドのスタビライザーをシングルラックに取り付けるか、多機能ラックをフロントスタビライザーに取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ デバイスレールのリリース用ラッチを押してラックからデバイスの出し入れをする際にはスライドレールに指を挟まないようご注意ください。
- ◆ デバイスがラックに挿入されたら、注意してレールをロックする位置までスライドしてください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

## 同梱品

---

CE-300 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CE-300L オーディオ KVM エクステンダー (ローカルユニット) ×1
- ◆ CE-300R オーディオ KVM エクステンダー (リモートユニット) ×1
- ◆ KVM ケーブル (1.8m) ×1
- ◆ 電源アダプタ ×2
- ◆ ラックマウントキット ×2
- ◆ ファームウェアアップグレードケーブル ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、CE-300 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

**第1章 はじめに:** CE-300 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明しています。

**第2章 ハードウェアセットアップ:** CE-300 の基本的なセットアップの方法について説明しています。

**第3章 操作方法:** CE-300 の基本的な操作方法について説明しています。

**第4章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:** お使いの CE-300 のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

**付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明しています。

## マニュアル表記について

---

[   ]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ( , )を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

# 第1章 はじめに

## 製品概要

---

CE-300 オーディオ対応 KVM エクステンダーは、1 箇所のリモートコンソール(キーボード、モニタ、ステレオスピーカー、マイク、マウス)からコンピュータシステムへのアクセスを可能にしたデバイスです。本製品は、工場や工事現場での使用に加え、コンソールを使いやすく、なおかつ、ホコリやチリの多い苛酷な環境から離れた安全な場所に設置して使用したいユーザーに最適な製品です。

CE-300 は管理やセキュリティの点においても優れた製品です。コンソールをアクセスしやすい場所に設置できるということは、同時に、システムを安全な環境にセットアップすることも可能であるからです。

本製品はまた、サウンドを重視するユーザーのニーズにもお応えし、これまでのモデルに改良を加えてオーディオ機能を搭載しました。CE-300 では、KVM データと同時にマイクおよびスピーカーのオーディオデータもリモートシステムに転送することが可能になりました。

従来のエクステンダーはユニット間の接続に高価でかさばるケーブルを使用する傾向にありましたが、CE-300 ではローカル/リモートの各ユニットの接続に、現在最も広く使われているカテゴリ 5 対応 LAN ケーブルを採用し、機器のコンパクト化を実現したことで、リモートシステムへのアクセスを便利にしました。このカテゴリ 5 対応 LAN ケーブルによって、本製品は、機器の構成をよりコンパクトに、デバイスへのアクセスをより便利に、更に、長距離間のデータ転送をより安定したものにしたと言えるでしょう。

CE-300 は製品内蔵のカスタム ASIC によって、機器の信頼性と互換性を保証しているのも特徴です。また、本製品はシステムまでの距離を自動認識し、ゲインを自動調節します。

製品のセットアップは、CE-300 ローカルユニットにコンピュータとローカルコンソールを接続し、カテゴリ 5 LAN ケーブル(最大 100m まで対応)で CE-300 のローカルユニットとリモートユニットをつないで、リモートユニットにリモートコンソールを接続するだけです。

---

**注意:** 本製品に KVM スイッチを接続してお使いいただくことによって、離れた場所から複数のコンピュータを操作することも可能です。

---

## 特長

---

- ◆ 信頼性と互換性を高めた ASIC 搭載
- ◆ カテゴリ 5 LAN ケーブルを使用して延長することが可能 - 延長可能距離は最大 100m
- ◆ デュアルコンソールオペレーション - ローカルユニット、リモートユニットにそれぞれ一組の PS/2 キーボード、PS/2 マウス、アナログモニタを接続することが可能
- ◆ ローカル/リモートコンソールの切替方法 - プッシュボタン
- ◆ VGA 解像度 - 1,280×1,024@60Hz (100m 延長時)
- ◆ VGA、SVGA、マルチシンクモニタ対応 - DDC、DDC2、DDC2B 準拠
- ◆ ゲイン自動調節 - 延長距離を自動的に検出して、信号を最適に補正
- ◆ スピーカー、マイクの使用が可能
- ◆ ファームウェアのアップグレードが可能

## システム要件

---

### コンソール

- ◆ 製品に接続するコンピュータのうち、解像度が最も高いものに対応した VGA、SVGA、マルチシンクモニタ
- ◆ PS/2 キーボード
- ◆ PS/2 マウス
- ◆ マイクおよびスピーカー (オプション)

---

**注意:** ローカルユニットに DDC タイプのモニタを接続した場合、リモートユニットに接続されたモニタはその DDC モニタの最大 VGA 解像度に対応している必要があります。

---

### コンピュータ

製品に接続するコンピュータには、以下のハードウェア環境が必要です。

- ◆ VGA、SVGA、マルチシンクカード
- ◆ 6 ピン ミニ DIN マウスポート
- ◆ 6 ピン ミニ DIN キーボードポート

### ケーブル

- ◆ PS/2 対応マウス・キーボードの使用が可能なコンピュータと CE-300L との接続には、標準的な KVM ケーブルをお使いいただくことができますが、最適な信号品位とレイアウトの簡素化のためにも、本製品に同梱されている高品質カスタム KVM ケーブルの使用を推奨します。
- ◆ 標準的な KVM ケーブルでは AT タイプのキーボード・マウスポートを搭載したコンピュータを CE-300L に接続することはできません。このようなコンピュータをお使いの場合は、必ず製品に対応した KVM ケーブルをお使いください。詳細についてはお手数ですが販売店までお問い合わせください。
- ◆ ローカル/リモートユニットの接続には、カテゴリ 5 以上の LAN ケーブルをお使いください。この規格に満たないケーブルを使用すると信号の劣化を招くおそれがあります。製品を最もよい状態でお使いいただくためにもカテゴリ 5 以上の LAN ケーブルのご使用を推奨します。

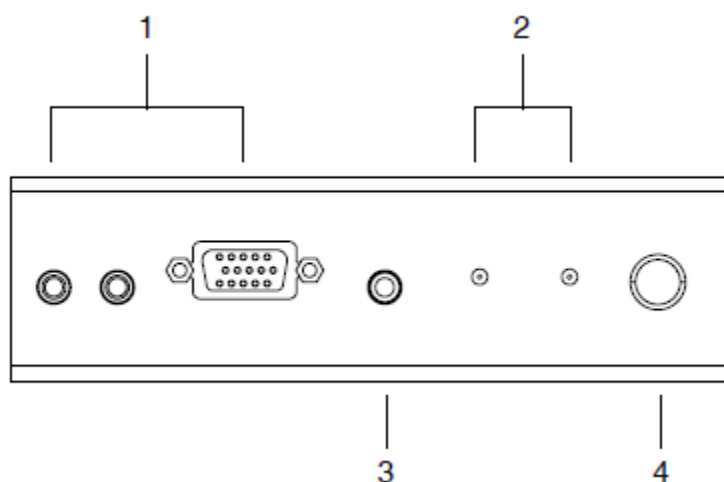
## OS

本製品は下記の OS を搭載したコンピュータの接続に対応しております。

OS		バージョン
Windows		2000 以降
Linux	RedHat	6.0 以降
	SuSE	8.2 以降
	Mandriva (Mandrake)	9.0 以降
Unix	AIX	4.3 以降
	FreeBSD	3.5.1 以降
Novell	Netware	5.0 以降
DOS		6.22 以降

## 製品各部名称

### CE-300L(ローカルユニット)フロントパネル



No.	名称	説明
1	KVM ポートセクション	この部分は、マイクジャック、スピーカージャック、KVM (キーボード、モニタ、マウス)、および SPHD コネクタから構成されています。ここにケーブルをつないで CE-300L とコンピュータを接続します。このコネクタは専用に設計されていますので、対応する KVM ケーブル以外接続しないでください。(p.12「ケーブル」参照)
2	LED ランプ	ローカルユニットには 2 つの LED ランプがあり、CE-300 の動作モードを表示します。LED ランプの表示内容については、p.19 をご参照ください。
3	ファームウェアアップグレードポート	ファームウェアアップグレードケーブルをこのコネクタに接続します。このケーブルを接続すると、ファームウェアアップグレードデータを管理者のコンピュータから CE-300L に転送します。

(表は次のページに続きます)

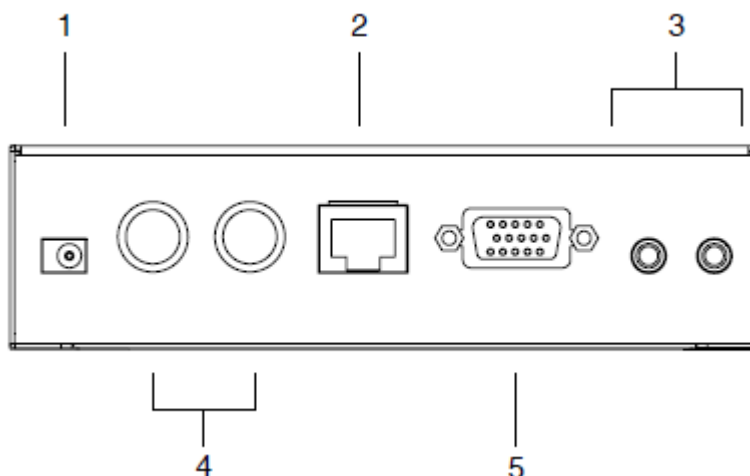
No.	名称	説明
4	動作モード切替ボタン	<p>このプッシュボタンを押すと、動作モードを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Auto: ローカル/リモートの両コンソールから操作が可能であることを表します。</li> <li>◆ Local: ローカルコンソールのみが操作可能であることを表します。</li> <li>◆ Remote: リモートコンソールのみが操作可能であることを表します。</li> </ul>

### CE-300R(リモートユニット)フロントパネル



No.	名称	説明
1	オンライン/電源 ON LED ランプ	これらの LED ランプはローカル/リモートユニットの動作状態を表しています。(詳細は p.20 参照)

## CE-300L/CE-300R リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ジャック	同梱されている電源アダプタを接続してください。
2	リモートI/O	リモートユニットとローカルユニットをつなぐカテゴリ5対応ツイストペアケーブルをここに接続します。
3	コンソールオーディオジャック	製品同梱のKVMケーブルのマイクとスピーカーの各コネクタをここに接続します。各コネクタおよびジャックはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンとPC99準拠のカラーリングが施されています。
4	キーボード/マウスポート	製品同梱のKVMケーブルのPS/2キーボードとPS/2マウスの各コネクタをここに接続します。各コネクタおよびポートはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンとPC99準拠のカラーリングが施されています。
5	モニタポート	製品同梱のKVMケーブルのモニタのコネクタをここに接続します。

**注意:** CE-300にKVMスイッチを接続してお使いになる場合、KVMケーブルをKVMスイッチのコンソールセクションにあるポートに接続してください。

## 第2章 ハードウェアセットアップ



1. 機器の設置に際し重要な情報をp.4に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。

### ケーブルの接続

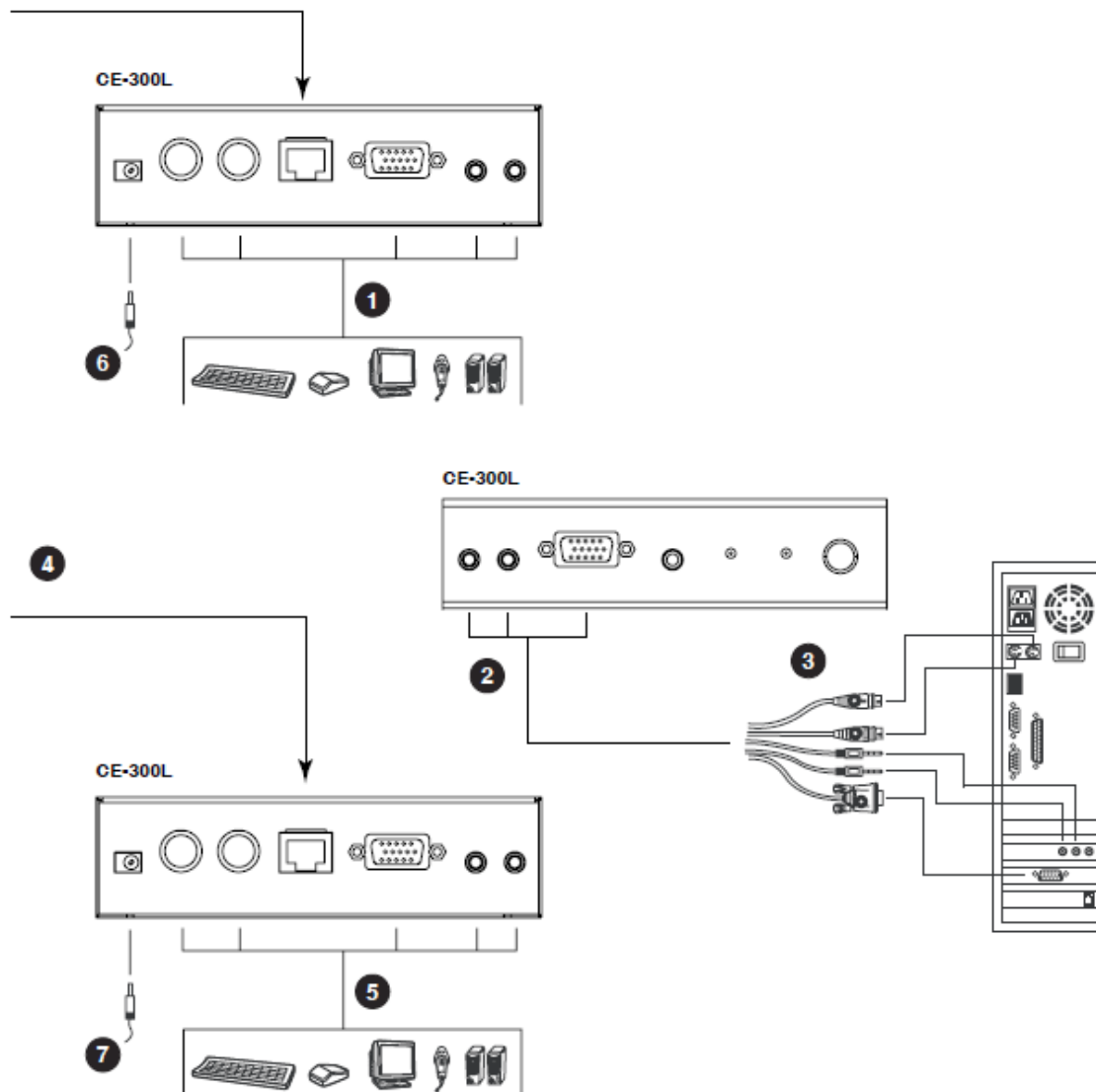
---

本製品は必要なケーブルを適切に接続するだけで簡単にセットアップできます。次のページの接続図を参考にしながら、以下の手順で作業を行ってください。(図内における番号は下記手順の番号に対応しています。)

1. ローカルコンソールとして使用するデバイス(マウス、キーボード、モニター、マイク、スピーカー)を、ローカルユニット(CE-300L)のリアパネルにある該当ポートにそれぞれ接続してください。各コネクタはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンとPC99準拠のカラーリングが施されています。
2. 製品同梱のKVMケーブルの各コネクタをCE-300Lのフロントパネルにある該当ポートにそれぞれ接続してください。各コネクタはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンとPC99準拠のカラーリングが施されています。
3. 手順2で使用したKVMケーブルのもう一端にある各コネクタをコンピュータ側(KVMスイッチと併用する場合は、スイッチのコンソールセクション)の対応するポートに接続してください。
4. カテゴリ5対応ツイストペアケーブルをCE-300LのリモートI/Oポートに、また、このケーブルのもう一端をCE-300RのリモートI/Oポートにそれぞれ接続してください。

5. リモートコンソールとして使用するデバイス(マウス、キーボード、モニタ、マイク、スピーカー)を、リモートユニット(CE-300R)のリアパネルにある該当ポートにそれぞれ接続してください。
6. 製品同梱の電源アダプタを CE-300L に接続し、コンセントに挿してください。
7. 製品同梱の電源アダプタを CE-300R に接続し、コンセントに挿してください。

## 接続図



# 第3章 操作方法

CE-300 のローカル/リモートの各ユニットには、動作状態を表す2つのLEDランプがついています。LEDランプが表す内容は下表のとおりです。

## CE-300L(ローカルユニット)

LED	動作モード		
	ローカル	オート	リモート
Local	点灯している場合、ローカルコンソールがアクティブであることを表します。(リモートLEDランプはOFFになります。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ローカルコンソールがアクティブである場合にONになります。(リモートLEDランプはOFFになります。)</li> <li>◆ リモートコンソールがアクティブである場合にOFFになります。(リモートLEDランプはONになります。)</li> <li>◆ どちらのコンソールもアクティブでない場合は、リモートLEDランプと、このLEDランプが交互に点滅します。</li> </ul>	LEDランプはOFFの状態です。
Remote	LEDランプはOFFの状態です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ リモートコンソールがアクティブである場合にONになります。(ローカルLEDランプはOFFになります。)</li> <li>◆ ローカルコンソールがアクティブである場合にOFFになります。(ローカルLEDランプはONになります。)</li> <li>◆ どちらのコンソールもアクティブでない場合は、ローカルLEDランプと、このLEDランプが交互に点滅します。</li> </ul>	点灯している場合、リモートコンソールがアクティブであることを表します。(ローカルLEDランプはOFFになります。)

## CE-300R(リモートユニット)

LED	説明
電源	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ ローカルユニットとの接続が正常である場合に ON になります。</li><li>◆ ローカルユニットとの接続に問題がある場合に点滅します。</li></ul>
オンライン	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ リモートコンソールがアクティブである場合に ON になります。</li><li>◆ ローカルコンソールがアクティブである場合に OFF になります。</li><li>◆ ローカルユニットとの接続に問題がある場合に OFF になります。</li></ul>

# 第4章

## ファームウェアアップグレード ユーティリティ

Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティ(FWUpgrade.exe)は、スムーズかつ簡単な操作で KVM スイッチのファームウェアをアップグレードすることができます。

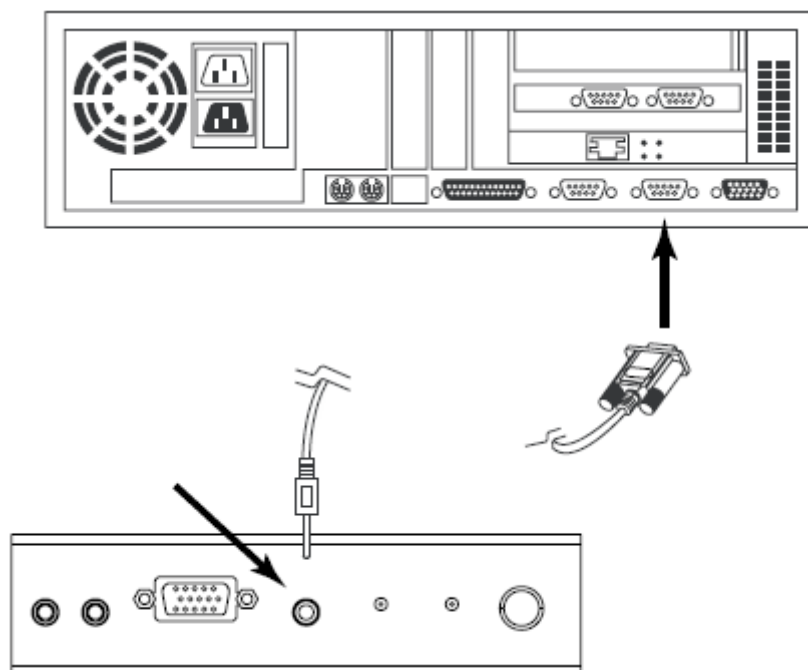
ファームウェアアップグレードパッケージは製品型番別に提供しております。新しいファームウェアパッケージはリリース後に弊社 Web サイトに公開されます。機器を最新の状態に保つために、定期的に弊社 Web サイトをご覧ください。<http://www.aten.com/download/download.php>

### アップグレードの前に

---

ファームウェアアップグレードの前に以下の手順に従って準備を行ってください。

1. CE-300L のフロントパネルから KVM ケーブルを外してください。
2. 弊社ダウンロードサイトの製品型番から「CE-300」を選択してください。現在利用可能なファームウェアアップグレードパッケージの一覧が表示されます。
3. 適用したいファームウェアアップグレードパッケージ(通常は最新のバージョン)をお使いのコンピュータにダウンロードしてください。
4. 同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用して、パッケージを保存したコンピュータの COM ポートと CE-300L のファームウェアアップグレードポートを接続します。



5. 両方のユニットにカテゴリ 5 対応 LAN ケーブルが接続していることを確認し、リモートユニットに電源を入れてください。
6. ローカルユニットの動作モード切替ボタンを長押ししたままローカルユニットに電源を入れてください。
7. ローカルユニットのフロントパネルにある緑色の LED ランプが両方とも点滅したら、動作モード切替ボタンから手を離してください。
8. リモートユニットのフロントパネルにあるオレンジ色の LED ランプが ON になっていることを確認してください。(この場合、ファームウェアアップグレードモードが有効になっています。)

---

**注意:** LED ランプが ON になっていない、または点滅している場合、ユニット側でアップグレードの準備ができていないことを表しています。その場合はもう一度手順 6～7 の操作を行ってください。

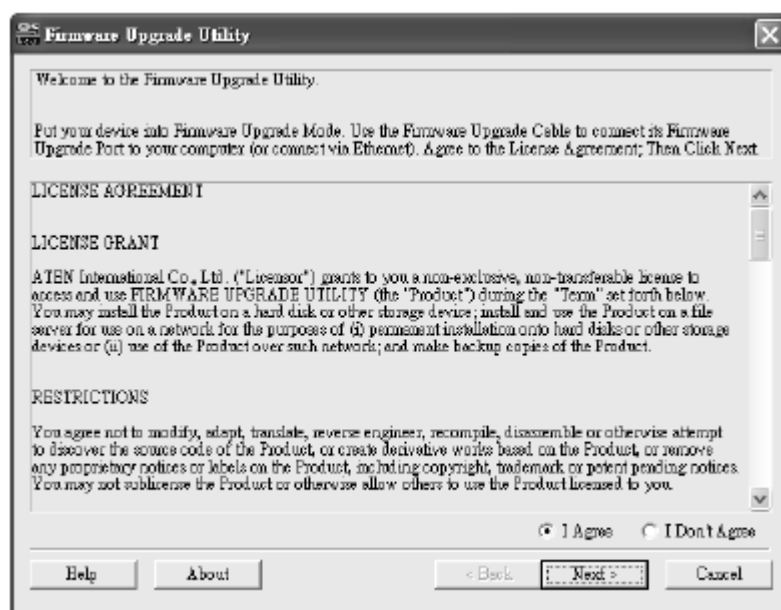
---

## アップグレード開始

---

アップグレード作業は以下の手順で行ってください。

1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージをダブルクリック、またはコマンドラインにフルパスを入力して実行します。以下のようなファームウェアアップグレードユーティリティの初期画面が表示されます。



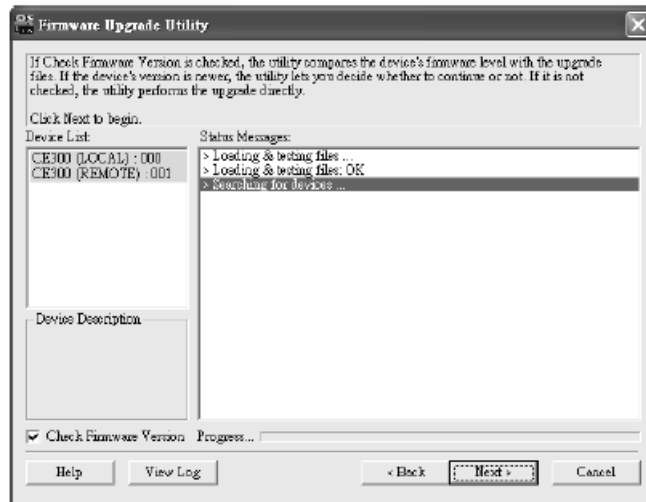
---

**注意:** 本セクションで使用されている画面のキャプチャは参考イメージですので、画面内の文面やレイアウトがお使いのコンピュータのものとは異なる場合があります。ご了承ください。

---

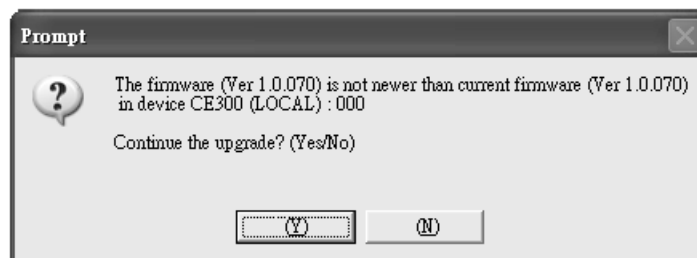
2. 画面内の使用許諾内容をご確認いただき、「I Agree」ボタンを選択して同意してください。

3. 操作を続ける場合は「Next」ボタンをクリックしてください。以下のようなファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。



ユーティリティは現在のデバイス構成を自動検出し、このパッケージでアップグレード可能なデバイスをすべて「Device List」パネルに表示します。

4. リストからデバイスを選択すると、そのデバイスの詳細が「Device Description」パネルに表示されます。
5. デバイスを選択したら、「Next」ボタンをクリックしてアップグレードを実行してください。「Check Firmware Version」(ファームウェアのバージョンをチェックする)の項目にチェックを入れると、ユーティリティはデバイスのファームウェアのバージョンとアップグレードファイルのバージョンの比較を行います。デバイスのバージョンの方がアップグレードファイルのバージョンよりも新しい、または同じである場合は、以下のようなダイアログが表示され、処理継続の可否を問われます。



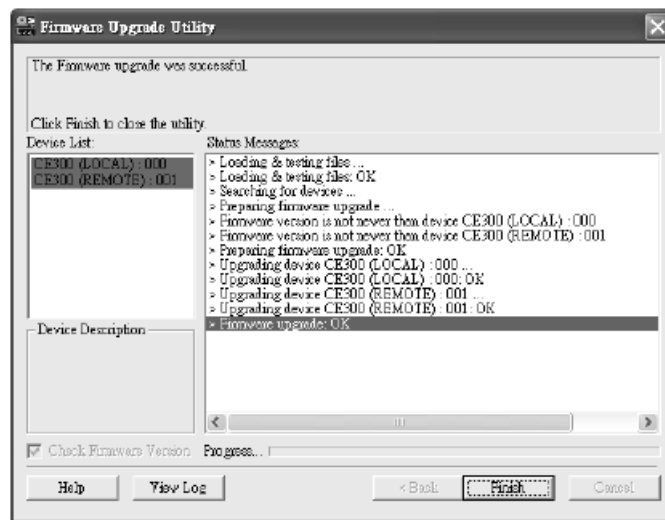
この項目にチェックが入っていないと、ユーティリティはバージョンの比較を行わずにアップグレード処理を行います。

なお、アップグレード処理の進捗状況は、「Status Message」パネルに表示されているステータスメッセージと、画面下部に表示されているプログレスバーで確認することができます。

## アップグレード成功

---

アップグレードが正常に終了すると、以下のようなダイアログが表示されます。



ファームウェアアップグレードユーティリティを終了する場合は「Finish」ボタンをクリックしてください。

ファームウェアのアップグレードが正常に終了すると、CE-300 はファームウェアアップグレードモードを自動的に終了します。

## アップグレード失敗

---

アップグレード成功時に表示されるべき画面が表示されなかった場合、アップグレードの処理が正常に終了しなかったことを表します。この場合は、アップグレード作業を最初からやり直してください。

# 付録

## 製品仕様

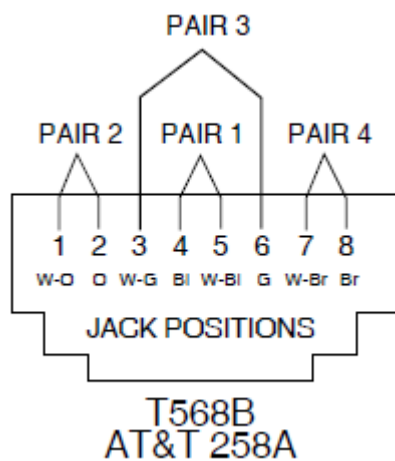
機能		CE-300L	CE-300R	
コンピュータ接続数		1	-	
コンソール接続数		1	1	
コンピュータ側対応 インターフェース	キーボード	PS/2	-	
	マウス			
コンソール側対応 インターフェース	キーボード	PS/2		
	マウス			
コンピュータ側コネクタ	キーボード	SPHD メス(イエロー)×1	-	
	マウス			
	モニタ			
	スピーカー			ミニオーディオジャックメス×1
	マイク			ミニオーディオジャックメス×1
コンソール側コネクタ	キーボード	ミニ DIN6 ピンメス×1		
	マウス	ミニ DIN6 ピンメス×1		
	モニタ	D-sub15 ピンメス×1		
	スピーカー	ミニオーディオジャックメス×1		
	マイク	ミニオーディオジャックメス×1		
スイッチ	モード選択	プッシュボタン×1	-	
ファームウェアアップグレードポート		ミニオーディオジャックメス×1	-	
電源ジャック		DC 電源ジャック×1		
ユニット間接続		RJ-45×1		
LED	ローカル	グリーン×1	-	
	リモート	グリーン×1	-	
	電源	-	オレンジ×1	
	オンライン	-	グリーン×1	
キーボード・マウスエミュレーション		PS/2		

(表は次のページに続きます)

機能		CE-300L	CE-300R
電源仕様(アダプタ)		型番:0AD8-0605-241G 入力:AC100V~240V 50~60Hz 出力:DC5.3V 2.4A	
消費電力		2.5W	
延長距離		最大 100m	
VGA 解像度		1,280×1,024 ローカルユニットのみ DDC2B 準拠	
動作環境	動作温度	0~50℃	
	保管温度	-20℃~60℃	
	湿度	0~80%RH 結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		375g	365g
サイズ(W×D×H)		139×88×38mm	
同梱品		2L-5302P(1.8m)ケーブル×1 電源アダプタ×2 ラックマウントキット×2 ファームウェアアップグレードケーブル×1 クイックスタートガイド×1	

## ツイストペアケーブル 結線図

---



## ツイストペアケーブル ピンアサイン

---

ピン	アサイン
1	/V OUT B
2	V OUT B
3	/V OUT G
4	/V OUT R
5	V OUT R
6	V OUT G
7	/DO
8	DO

## トラブルシューティング

現象	対処法
外付モニタにゴーストが発生する。	外付モニタと CE-300 間の距離が離れすぎている可能性があります。使用する VGA ケーブルの最大長を 20m(もしくはそれ以下)にする必要があります。短めの VGA ケーブルに交換してみてください。

## SPHD コネクタについて



本製品は KVM ポート、またはコンソールポートに対して SPHD コネクタを使用しております。コネクタの形状に改良を加えておりますので、専用の KVM ケーブルのみ製品に接続することが可能です。